



Title	激動する最近の世界情勢と転換期にきた日本：公衆衛生の今後の諸問題
Author(s)	畑山，博；朝倉，新太郎
Citation	大阪公衆衛生. 1976, 36, p. 43-55
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84102
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



「激動する最近の世界情勢と転換期にきた日本」

—— 公衆衛生の今後の諸問題 ——

講師 畑 山 博
座長 朝 倉 新 太 郎

司会 大変お待たせいたしました。只今から第2部に移ります。どうぞ御着席ください。

只今から毎日新聞大阪本社論説室の顧問をしていらっしゃる、又評論家としてもご活動をお続けになっていらっしゃる、畑山先生の特別講演をいただきます。

なお、第2部講演会の座長をして頂きますのは、大阪公衆衛生協会理事・学術部長の大阪大学医学部教授 朝倉先生です。それでは、朝倉先生お願いいたします。

座長 それでは、只今から「激動する最近



の世界情勢と転換期にきた日本」と題しまして、畑山博先生から特別講演をお願い致します。私共公衆衛生の問題も、あるいは保健衛生の問題も現在、曲り角にきたといわれております。その背景には

更に、本日の演題にありますような、国内的あるいは、国際的な大きな激動の社会があると思われま。そういう点につきまして、30

年以上も新聞記者の生活をされまして、又最近は評論家としまして、非常に長い経験と適確な情報をもとにしまして、評論の筆を執っておられます先生からのお話は大変有意義かと存じます。どうか、御静聴お願い致します。それじゃ先生お願い致します。

ただいまご紹介を頂きました畑山でございます。

今日、私は新聞に余り出ていないことを中心にして話を進めたいと思っています。

どうも最近の新聞を見ていると必ずしも本当の事ばかり書いてない。嘘を書いていると私は思いたくないけれども、国民にもっと知らせなきゃならない事が沢山ある。もっと書いて欲しいと私は思うんです。こんな事を私が申し上げますと、皆さんの中には、「お前は新聞記者のくせに何をいってるんだ」とお叱りを受けるかも知りません。なるほどこれは誠に申し訳ない事なんです。しかし私は書いてきたつもりなんです。そこで今日は日本、あるいは世界の最近の情勢など余り新聞に出てない事を中心に話をしてみたいと思っています。

誰が名付けたか「極東」

ここに世界地図が掛かっているでしょう。日本とその周辺の事を何とっていますか。極東というでしょう。あれは誰がいった言葉ですか。よく国会等で極東の安全とか、極東の平和とか、よくいってるでしょう。誰がいい出したんですか。あの極東という言葉は。

英国人がいい出した言葉なんです。英語で Far East、遙かなる遠い東の果ての国という意味です。

なるほど英国を真ん中にしてずっと東の方へ行くと、東の果てに日本がある。まさに極東なんです。それを日本人が極東、極東と呼んで、別におかしいと思っていない。もし日本人が極東という言葉を使うんだったら、英国は一番地図の西の端にありますから本当は「極西」といわなければならないけれども、誰も「極西」といわない。極東という言葉だけが通用している。

今、石油問題や、アラブ、イスラエル紛争で焦点となっている中近東は、なぜ中近東というんでしょうか。近い東、真ん中の東と書いて、中近東といいますね。誰がいい出したんですか。英国人なんです。ヨーロッパからみて近い所にある東、近いアジアだから、Near Eastで近東。そして近い東の Near Eastと遠い極東の Far Eastの真ん中にあるから Central East 中東とこう呼んでいる。英国人がいい出した言葉なんです。

それを日本人が中東、近東と、中近東と呼んでいる。おかしいと思いませんか。しかし日本から見たらアラブ地方は中近東じゃなくて、あれは西南アジアと呼ばにゃいかんです。アジアの西南方面にあるから。が、誰も西南アジアと呼ばない。中近東と呼んでいるでしょう。もう固有名詞みたいになっているんだから、極東でもいい、中近東でもいい。しかし誰がいい出したかという事だけは知っ

ておかなきゃいかん。英国人なんです。

ソヴェトへ行ってごらん下さい。私は3年前ソヴェトを旅行して、北朝鮮に入ったんです。朝鮮民主主義人民共和国というあの北朝鮮に入りまして、金日成主席と会ったんですね。金日成主席と会って彼と四時間ほど一緒に飯を食いながら色んな話をしました。私は韓国には、朝鮮動乱以来、何度も行っていますが、北朝鮮に入ったのは初めてです。北朝鮮は日本と国交が正常化していないので、なかなか入れないんですよ。それに私は共産主義の批判を随分書いて来た男ですから。

私が北朝鮮に入った昭和47年の夏。南北朝鮮赤十字会談という会談が行われまして、朝鮮動乱以来血で血を洗って戦って来た南北の韓国人と北朝鮮人が「この辺で争うのは止めようじゃないか。平和的に話合おうじゃないか」という事で、一時的に雪解けムードになった事があるんです。昭和47年の夏、南北朝鮮赤十字会談が平壤^{ピョンヤン}で行われたんです。

その雪解けムードを取材する目的を認められ、ヴィザを貰ってやっと北朝鮮に入れました。ソヴェトから北朝鮮に入りました。飛行機です。ソヴェトの役所へ行ってみると、壁にかけてある地図がさかさになっているんです。地図というのは、北極が上で南極が下にあるでしょう。上が北で下が南という事になっています。ところがソ連の国土は北極を抱くようにして出来上っている。シベリアを見ればわかるでしょう。だから北極を中心にして地図がさかさにして作られている。

世界地図を見なおそう

つまり北が下になって上が南になっている。

南北を逆にして作られている地図の中の日本をみてびっくりしたんです。

ここにいらっしゃる人は、今日お帰りになったらどうか世界地図を逆にして見てほしい。

びっくりすることがあります。はっと気の

つくことがある。私は日本人ですから、日本はどこにあるのだろうと思って逆さまになった地図を見たんです。日本が逆さまになっていますよ。北海道が下になって九州が上になっている。

その地図を見てびっくりしました。朝鮮半島が日本の横腹に突きつけた短刀の様なところにあるんです。ここにある世界地図を見たらわからんでしょう。逆さまにして見てごらんさい。日本の下腹にぱっと突き出した短刀の様なところに朝鮮半島がある。そして、ヒラメのような形をした北海道を樺太、今はソ連領サガレンになっていますが、樺太が鋭い槍の先で突きさすようにある。

人間というものは、時には視点を変えて物事を見ることが必要です。なるほど、日本にとって朝鮮半島というものがどういう意味を持っているかという事は地図を逆さまにすればわかるんです。たまには世界地図を見るときは、地図を逆さまにして見て頂きたいと思うんです。気のつくことがいくつかあります。

今、ロッキード事件で、我が国の政界は大きく揺れています。この事についても、今日は大事な点には私は触れたいと思っています。その話に入る前に北朝鮮で金日成主席と会った時、印象に残ったことを申し上げておきたいと思います。

北 朝 鮮 の 印 象

金日成という人は、会った感じでは中々男らしくがっちりした人です。堂々とした、背は余り高くないが貫録のある人物ですね。

私は北朝鮮に入ってびっくりしたことは、町の中がきれいですね。私は1カ月間、ピョンヤン（平壤）で暮したけれども、町で煙草の吸殻が落ちているのを一度も見たことはありません。

今日、ここにお集まりの方々は公衆衛生に

関するいろんなお仕事にタッチしているでしょう。だからよく聞いておいて下さい。北朝鮮では、煙草の灰皿のない場所で吸殻を絶対捨てることはないんです。必ず灰皿のある所で煙草を吸っています。

私は日本に帰って来て改めてびっくりしました。道路でも駅のホームでもどこでも吸殻だらけ。ガソリンスタンドで煙草を吸っている馬鹿もおる。そんな奴はぶんなぐりゃいいですね。

宴会に出て、酔っぱらいを見たことも一度もないです。あの国の人たちは酒は強いですよ。アルコール濃度35度ぐらいの強い酒をぐぐっと飲む。酔っぱらってヘド吐いたり、くだを巻いたり、酔いつぶれて寝こむ人間は一人もいない。端然として飲んでいる。日本人は酒を飲むと直ぐへべレケになりますね。だらしない国民ですね。それに立小便をしている者は一人も見つたことはないです。

日本へ帰って来て、東京の新宿歩いて、大阪の道頓堀歩いて、博多の中州を歩いても酔っぱらいや立小便の連中にお目にかかる本当に行儀の悪い国民ですね。

先日、プロ野球の巨人・広島戦で、もめましたね。審判の判定をめぐるでもめて、広島ファンが巨人の選手ともみ合った事あるでしょう。私も中学では野球の選手だったです。野球は好きですけどね。あの時に張本選手がバットで広島ファンを殴ったということが新聞に出てました。張本が先に手出したのか、広島ファンがワーッと押しよせてきたものだから張本がバット振ったのが当たったのか、今のところはっきりしませんね。然し張本に殴られてケガをしたという人が何人かいるんですね。もし、それが事実なら、張本としてなんらかの形で責任を明らかにせねばならないと思うんですが。ただあの時、毎日新聞の余録にも出てましたが、張本選手に対して「朝鮮帰れ」といってるんですね。

それで張本はカーッとしたと書いてありました。なるほど張本は、韓国出身です。しかし二世の日本人が米国で、「日本人帰れ」といわれたらどんな気がしますか。

日本人の考え方の中には朝鮮人、韓国人というたら馬鹿にしている人がいます。特に我々、大正・明治に生まれた人間の中にはそういう考え方を持っている人がかなりいる。それは間違いです。

元来、朝鮮民族は文化的にも優秀な民族です。日本の統治下で苦しんだが、今は変わりました。今の韓国人あるいは北朝鮮の人たちがどのようにして生まれ変わったような国民になりつつあるかということを知ってますか。

私が先ほどいいましたように、ピョンヤンの町を歩いても煙草の吸殻一つ落ちてない。酔っぱらった人間もいない。立小便する者もいない。公衆道徳なんてものはいわなくてもいい。

それに比べて日本人どうですか。ガソリンスタンドで煙草吸ってる。平気でその辺に煙草の吸殻をまき散らしている。飲んだらあの通りです。それで「朝鮮人」と馬鹿にしている。むしろ韓国人・朝鮮人の方が日本人を馬鹿にしているのかも知れませんよ。

北朝鮮で金日成主席と会っていろんな話をした時に、私はふっと感じた事がある。いいですか、私は日本人だから日本が好きです。われわれは日本で生まれて、日本で育て、日本で生活して、日本で命を終わる。われわれの子供達もそうなんです。孫たちもそうです。一度、日本という国を改めて見つめてみる必要がありますね。

そのためには、世界の人たちが日本をどう見ているかという事も考える必要がある。金日成という人は、面白い人ですね。笑い声なんか天井一杯にパーッとこだまするくらい豪快です。男らしい男ですね。考え方は、勿論私は共産主義に批判的な男ですから彼とは

違いますけれども、人間的には魅力のある人ですね。

日本にも考え方は違うけれども、面白い人は革新系にもいる。だが、東京都の美濃部知事。私は東京本社の社会部長をしている時、彼と会って意外でしたね。握手した時、気持悪かったですよ。この人、でれっとしたギザな男だと思いながら手を握ったんですけどね。なんか気持の悪い人ですね、美濃部さんて。あの笑った時のニタツとした顔。美濃部スマイルというけれど、どこがいいんでしょうかね。同じ革新系でも、京都の蜷川知事はいいですね。考え方は蜷川さんと私は違いますよ。

私は毎日新聞の京都の支局長を10年間やりましたから、蜷川さんとは個人的にもおつきあいをしてきました。時々、今も会っています。私は蜷川府政批判を新聞でも書いたことがあります。然し人間としては面白い人なんです。私生活はきれいですね。あの人は昭和8年、京都大学の教授になった時に、京都の洛北に借りた借家をそのまま現在でも使っています。25年間、知事をやった人が今日に至っても借家住まいをしています。身辺の実にきれいな人ですね。考え方は違うけれども人間としては魅力のある立派な人だと書いたことがありました。

田中角栄さんのような人に、知事を25年間やらせてごらんなさい。別荘を五つぐらい建てますよ。

北朝鮮で金日成主席をはじめ、いろんな各界の人たちと会って話をした時、ある人がいました。「日本の繁栄はマラッカ海峡にある」とね。

「日本の繁栄はマラッカ海峡にある」

マラッカ海峡ってどこですか。シンガポールとスマトラとの間にある狭い海峡です。私が北朝鮮に入ったのは、昭和47年の9月、まだ石油ショックのくる1年前でした。日本が

列島改造論で沸き立っている時、早くも日本の繁栄はマラッカ海峡にあるというんです。その意味が皆さんわかりますか。

日本人の使っている石油は年間2億7500万klでしよ。どこから来るんです。日本じゃ出ませんよ、それだけの油は。その83%はアラブから来るんです。どこを通るんですか。そのタンカー船は。マラッカ海峡を通るんですよ。アラブから出た石油タンカー船はインド洋を渡ってそしてシンガポールとスマトラとの間のこの狭いマラッカ海峡を通過して、そして日本へ入って来る。ところが20万t位の大きなタンカー船になりましたら、吃水が非常に深い。20m位あるんですよ。このマラッカ海峡というのは、通られた方はご存知でしょうが、広い所は80km位あるんですけど、暗礁が多いんです。

吃水線の深いタンカー船なんか油断して操縦を誤ると、暗礁に乗りあげてしまう。吃水線の深い船だったら、巾200m位の所しか通れない。そういう危険な所もあるんですね。ですから去年の1月6日、三菱石油の昭和丸という船がマラッカ海峡で暗礁に乗りあげて油を流して大騒ぎした事があるでしょう。ですから、マラッカ海峡を通る船は、夜明にマラッカ海峡に入って、日が暮れるまでにマラッカ海峡を通り抜けることになっているそうです。

もし仮にです。マラッカ海峡が通れなくなったらどうなる。そんな事を考えたことがありますか日本人は、通れなくなったらどうなる。通さなくなったらどうなりますか。今インドネシアとシンガポールとマレーシアの3カ国がマラッカ海峡の航行権ということで協議しています。マラッカ海峡を通る船の通行料を取ろうかということもいい出しています。通行料位のことならまだいいでしょう。通さないという問題が将来起こって来たらどうします。

例えば、将来ベトナムに似た様な反乱がマレーシアのジャングル地帯で起こって、クーデターや戦闘が起こるといような事になればどうでしょう。あるいはインドネシアのスマトラで反乱が起こって、その結果マラッカ海峡はどこの国の船も通さないという事になったらどういう事になるのですか。日本船はどこを通るんですか。やむを得ませんから日本の船はインド洋から赤道を南に出まして、それからジャバの南側を通過して、セレベスのあたりを通過してフィリピンの沖合を通過して日本に入ってくることになる。遠回りしなきゃならん。遠回りしますと、まず船賃が高くなる。船賃が高くなると石油の国内販売価格に影響してくる。同時に日本に入ってくる石油が減るということ。数字からいいますと大体航続距離が25%ふえますから、その割合でいきますと、日本に入ってくる石油は25%少なくなることになるんですね。

昭和48年秋、石油ショックが来た時のことを思い出してほしい。

日本はイスラエルに対しては友好国であるが、アラブに対しては非友好国であるというアラブの報復処置として、アラブは日本に対して石油の供給を25%削減するといったでしょう。たちまち日本の国内は大混乱に陥ったあれば掛け声だけで日本を脅したんです。本当は石油はドンドン入って来たんですね。アラブは、石油の国際価格を釣り上げる為にそういう事をいったんですが、25%石油を削減すると掛け声をかけただけで、日本の経済は大混乱に陥ったでしょう。昭和48年の秋のことを思い出してほしいんです。

日本は経済的に繁栄したといっても、安いただの様な石油をふんだんに自由に使えるという有利な立場を利用して経済繁栄をやってきたということです。日本の優秀な工業力や日本人の勤勉さもありましたがね。だが、石油価格が暴騰して、日本の生産コストが上っ

てくると、当然、国際競争力が落ちてくる。物が売れなくなる。インフレに変わって不況になってくる。当り前の事なんです。

つまり日本の繁栄はマラッカ海峡にあるという意味は、国の資源の乏しい弱点を持っているということですね。それを日本人はいつの間にか忘れていた。日本の周囲の国々は日本の弱点を研究しています。何も共産圏だけでなく、アメリカだって日本の弱点を研究している。日本人は、のんびりしている。私は外国旅行から日本に帰って来るたびに、なんと日本人の顔はのんびりしているなと感じます。ハワイの土人に似てきましたね。

若者よ！ 日本の運命を考えよう

2年前に田中内閣から三木内閣に代りました。その時にNHKのテレビ街頭録音班が、東京新宿駅の雑踏の中で通りすがりの人にマイクを向けていますね。「三木内閣が新しく発足したけれども、それに対して何か考えていることをおっしゃって下さい」と。すると奥さん風の人が、「物価をなんとか安くしてくれませんか」サラリーマン風の人は「我々サラリーマンの為に減税してくれ」、工員風の人は「我々労働者の為に賃金をもっとなんとかしなくちゃいかん」とかいつている。それぞれ意見をいつてるんですね。それはいい事です。意見はどんどんいつてほしいです。

ところがね、通りすがりの2～3人の若者にマイクを向けたんです。色メガネをかけて髪を長くしてね。男か女かわからん様な奴。大阪の道頓堀、東京の新宿にも、博多にもいます。前に回って胸に手を入れてみなければ男か女かわからんような奴がおるんです。そういう連中にNHKのカメラマン、アナウンサーがマイクを向けたら、何をいつたか。「そんなもの関心ないですね。そんなもんどうでもいいですよ」というて威張っている。

今の若者を無関心、無気力、無責任、三無

主義というでしょう。NHKのアナウンサーは、「ああそうですか」と引き退った。私はアナウンサーがもっといつてほしかった。「関心がないとは、何をいつんですか。もし日本が経済政策を誤って悪性インフレが起こつてきたら、どうするんですか。結婚したくても結婚できない。外交政策を誤って、アラブから油が一滴も入らなくなつたらどうなる。日本のガソリンスタンドは閉鎖しなければならん」とね。若者は無関心といつても、ガソリンがなくてどうして車を動かすんですか。大いに関心を持たなきゃならんのに、「関心ないですね」と威張つてやがる。男か女かわからん様な恰好して、ぶん殴つてやりたいと私は思つたんです。

ここにいらつしやる方はそれぞれの地域社会のいろんな面で指導をなさっている方でしょう。日本の運命を考える時、世界地図をながめながら考えてほしいということをまず申し上げたい。日本は余りにものん気すぎたですね。若い人達が青春を謳歌するのは結構ですけどね。しかしどうも考えることが目先のことだけです。

去年、東京大学の学生に聞いたら、「山口百恵ちゃんを守る会」とかいうのがあるらしい。早稲田へ行つたら、「桜田淳子ちゃんを守る会」というのもある。別の大学には、「アグネス・チャンと対話する会」というのがあるんです。阿呆とちがうかといいたいですね。私にも男の子が二人あります。それぞれ学校を卒業して就職して結婚しましたし、孫も二人出来ました。私はおじいちゃんなんです。おじいちゃんて呼ぶなと私はいつてるんですね。大きなパパと呼んでくれといつている。おじいちゃんなんていわれるには、まだ若すぎます。娘がいないんですよ私は。息子の嫁を自分の娘のようにして可愛いがつてあげようと思つてるんですが。山口百恵ちゃんの様な可愛い子ね、娘に持てばいいでしょうね。

ただしこんな事いうたら叱られるけど、山口百恵ちゃんのあの顔は、結婚したら余り可愛くなくなる顔ですよ。結婚して子供が出来たら段々平凡な女の顔になっていくんじゃないかと実は心配しているんです。

女性の顔にはね、結婚してから良くなる顔と悪くなる顔と二つあるんです。私の女房なんか結婚した時は大したことなかったけど、段々良くなってきました。冗談ですが。

山口百恵ちゃんも結構ですけども、日本の事ももっと考えてほしい。我々は日本で生まれて日本で育って日本で生活して日本で一生終わるんでしょう。昔の様な狭い愛国的、国家主義、そんな事私いってるんじゃない。私は肩肘怒らして天下国家を論じて、愛国者ヅラをしている奴は大きいですよ。広い視野に立って日本の運命を考えるにはどうしたら良いか。世界の国々、特に日本の周辺の国は何をしているかという事を考えたら一番いい。

例えば今日、日中平和友好条約を今すぐ結ぶかどうかでやかましく議論されております「覇権」の問題がからんでますね。覇権といっても内容がはっきりしない。経済的な問題も含んでいるのか。中ソ友好条約との関連や共産主義の宣伝の問題もありますしね。ソ連に対する関係もあります。日本としても色々考えなきゃならん問題です。日中友好は結構なことだが、中国に余り深入りすることで、中国のペースに乗って日本の自主性が弱くなることを心配する人もいますね。

急がれた日中国交正常化

昭和47年の9月、田中首相が北京へ行って周恩来首相と会い、日中国交正常化やりました。私は日中国交正常化はいいことだと思うんですよ。主義主張は違っても共産国家と日本が国交正常化することは、アジアの平和のためにも結構なことでしょう。だが、昭和47

年のあの時点で、本当に日中国交正常化を急いでいたのは日本であったか、中国であったか。日本人はもう改めて考えておく必要がありますね。

あの時、田中首相が羽田空港を飛びたって北京へ行ったでしょう。その数日前に台風が東日本の方向に来る恐れがあったのです。田中、大平一行を乗せた飛行機が羽田空港を飛び立つことがむずかしいかもしれない。「出発を延期しようか」の声も政府部内に出ました。その時にね、北京の中国政府からジャンジャン電話が外務省にかかってきたんです。どういう電話がかかってきたか。「田中首相は本当に来てくれるんですか。出発を延期することはないでしょうね。本当に来てくれるんですね」何度も何度も念を押してきたんです。念を押してきただけではなく、しまいには、「どうしても東日本に台風が来るので、羽田空港を飛び立つことが無理だったら汽車で福岡まで来て下さい。福岡の板付空港から上海まで飛んで下さい。後は北京まで中国の空軍が案内します」といってきました。向うから日本を出発する空港まで指定してきたんですよ。それほど田中首相が来るか来ないかということは中国にとって大変なことであった。幸い台風がそれたために、田中首相ら訪中団を乗せた飛行機は予定どおり羽田空港を飛びたって北京へ参りました。問題はなぜ中国がそんなに焦ったかということです。

日本人はもっと、しっかりしてほしいです。日中国交正常化は勿論いいことでしょう。けれども相手国のおかれていた立場はどうであったか、日本人は本当に知っていましたか？日中国交正常化の成立したあと、中国は日本に対してパンダを贈って来たでしょう。パンダが日本に来た時の騒ぎはどうでしたか。ある新聞などは、連続2日間社会面のトップ記事でパンダのことはばかり書いていました。パンダがくしゃみした、あくびをしたまで書いて

―― 特 別 講 演 ――

ていました。おもちゃ屋はどこへ行ってもパンダが飛ぶように売っていました。上野動物園には1日10万人ほど行列し押しかけたそうです。

しかしその時の中国の国内事情はどうなっていたか。中国とソ連との国境はどうなっていたか。日本人は何人知っていたでしょう。

そのとき、ソヴェトでは……。

あのころ、私はソヴェトを旅行して北朝鮮へ入るところだった。ソヴェトを旅行中、モスクワにいる消息通の日本人を通じていろんなことを聞かされました。シベリア鉄道の軍用列車にソ連軍の大部隊、戦車、大砲、ミサイル、車両を積み込んで夜となく昼となく続々とヨーロッパロシアから極東地域、東部シベリアへドンドン送られていることを。

そういう噂が国民の間にひろまっていたようです。シベリア鉄道は一時、旅客の夜間輸送は禁止していたといわれます。

貨物列車専用でドンドン中ソ国境へ送っていたんです。私が中ソ国境のハバロフスクへついた時、おどろきました。ハバロフスクの対岸は黒竜江を隔てて中国領なんです。9月終りでしたが、もう、小雪がぱらついていました。

町の中を歩いてみると軍人だらけですよ。軍人があふれている。相当数のソ連軍の大部隊がハバロフスクに来ていることがわかるんです。これはえらい事だなと私は思ったんです。

ハバロフスクの町へ買物に出かけたとき私は偶然、みやげ物を売ってるソ連人のおばさんと親しくなりました。

私は英語と中国語は多少わかるんですけれども、ロシア語はほとんどわかりません。相手のおばさんは、モンゴル人なんです。ソ連国籍だけどモンゴル系です。ご主人は日本人だったそうですが20年前になくなったと

いってました。日本語がうまいんですね。いろんな話をしているときにいいました。「今、ハバロフスクへ来ている軍人は、チェコスロバキアから来たのとちがうか？」というんです。

「どうしてそれがわかるか？」と聞いたら、「チェコスロバキアにいないければわからん事をいっている」という。

みやげ物でガラス製品を売っている。そのガラス製品のコップなどをソ連軍の将校が買いに来てひやかしながら、「このコップは大した事はないな。ガラス製品だったらチェコスロバキアのプラハで買ったものは良かったなあ」そんな事を話している。

チェコスロバキアにいた事がなければわからん事をいっている。

1968年、昭和43年の8月21日、チェコ事件が起こったでしょう。チェコにドブチュクという反ソ派の人がソ連に反対する勢力を率いて、チェコ全体が反ソ的な方向に動き出したんです。

それに対して、ソ連は、戦車隊を動員して侵入。ドブチュクを実力でたたき落した。そして親ソ政権を作って、チェコがソ連から離れるのを引き戻した。

あの時、チェコに侵入したソ連軍は、52万といわれた。事件がおさまるとその部隊が次第に徹収していったが、どこへ行ったかわからなかった。今、おばあさんの話を聞くと、どうやらその中の一部隊は、シベリア鉄道でヨーロッパからアジアを横断して東部シベリアの極東地域へ移動してきているのではないかと私は思いました。

ソ連の軍人がハバロフスクの町にあふれていました。中ソ国境の緊迫を肌に感じたのです。日中国交正常化の出来上る直前です。9月末、私は日本へ帰ってから、新聞みたんです。どの新聞をみても、中ソ国境の事は何も書いてない。パンダの事ばかり書いている。

ところが、9月10日付のニューヨークタイムズを読んでもと、「中ソ国境に集結しているソ連軍は兵力120万、49個師団」と書いてある。

なるほどこれでわかった。なぜ中国があんなに焦って日本と手を結ぼうとしたかがわかった。ソ連軍が国境に集結してきている。

中ソ国境の風雲急を告げてきたんです。第2のチェコ事件が中ソ国境で起こるかも知れないそんな不安が中国にあった。田中さんがあわてて北京へ飛んで行かなくてもよかった。じっと構えていたら、周恩来さんの方から手をさしのべて来ていたでしょう。

日本にはさししまった危険はなく、中国にはさししまった危機感があった。日本人は人がいいから友好、友好という言葉で酔ったようになり、相手国の立場を落着いて見きわめる余裕がなかったのではないかな。

単に中ソ問題だけではなくて、当時の中国国内も大変であった。文化大革命の功労者であった、林彪が肅清されて国内が大揺れに揺れていた。国の内外ともに騒然としていた時でしょう。

パンダ、パンダと騒いでいたが、あのころの日本人には、その辺の事情がわからな。こういうお目出たい国際感覚だから一方ではソビエトを社会主義の天国だと思っている人が沢山いても不思議ではない。特に今の若い人は、一度ソヴェトを旅行したらいい。

ソ連の市民生活の断面

労働者の生活を見てごらん下さい。賃金は120ルーブルから150ルーブル。1ルーブル400円として120ルーブルは、4万8千円、150ルーブルで6万円そこそこです。それで何が買えますか。このテーブルの上にある水さしよりも小さいホワイトブドウ酒、2ルーブル90カペイ、1,200円ぐらい、背広一着4万円するんですよ。一月の給料が飛んでしまいま



す。ワイシャツが一枚で7、8千円。だからソ連旅行された方ご存知でしょう。日本に比べ労働者は貧しい質素なみなりをしていますよ。

ところが最近のソ連に新しい階級が出てきた。1,000ルーブル以上も貰う人が出てきた。どんな人でしょうか。共産党員、高級官僚、高級軍人、高級技術者、芸術家の人達は特権階級を構成しているんです。

1カ月1,000ルーブル以上の給料を貰って一種の貴族ですよ。モスクワのポリショイ劇場へ行くと、一般の市民の入れない特別ボックスには、高級軍人が入っています。将官級の人たちがバリッとした勲章をぶらさげて座っています。

ソ連軍の内務規定を読みますと、大佐以上は人前で物を持ったらいけないということになっています。大佐以上は、当番兵に自分の持物を持たせることになっています。大したもんですね。高級芸術家といわれる人たちも同様です。

チェロの名手のラストロヴィッチは別荘を持って外車を3台持って貴族の生活している。モスクワを走っているモスコビッチ、ヴォルガ、そしてチャイカと云う高級車に誰が乗っているんですか。特権階級の人に乗っているんです。

マルクスは「能力に応じて働き必要に応じて受け取るのが共産主義の理想」といったけ

れども、現実のソヴェトは次第に最初の革命の理想から離れて官僚的な権力国家に成りつつあります。何も私がいうんじゃない。中国共産党がそういっています。そして対外的には軍隊を動員してすぐ軍事力に訴えるでしょう、これは帝国主義ではないでしょうか。チェコ事件はそのいい例です。だから中国がソヴェトを「ソヴェト社会帝国主義」と呼んでいるでしょう。

世界は変わりつつあることを知らなきゃなりません。

かわりつつある中国

ところで中国はどうでしょう。今年4月、北京の天安門騒動でもわかるように、大揺れに揺れてますね。副首相トップの鄧小平が粛清されましたね。新首相に華国鋒が出てきました。華国鋒が出てきて、鄧小平第一副首相という周恩来首相の後継者といわれた人が粛清されたことは、何を意味するのでしょうか

周恩来首相が批判されたことになるのですよ。粛清された鄧小平を採用した人、誰ですか。周恩来でしょう。周恩来という人は非常に実務的な人で優秀な官僚ですね。あの人は中国を建設するためには主義主張にとらわれないで、広い視野に立った実務者的官僚を育てるのが大事だと思っていた人です。

鄧小平は1966年、文化大革命が起こった時に「黒いネコがネズミを取ってくるか、白いネコがネズミを取ってくるか、そんなことはどっちでもいい。要するにネコがネズミを取ればそれでいいんだ」というたでしょう。

「資本主義的であろうが、共産主義的であろうが、今のところどちらでもいいんだ。今の中国にとって大事なことは、生産を上げて国力をつけることなんだ」といった人なんです。「それがいかん」ということで文化大革命の時に、粛清されました。中国共産党中央総書記だった人ですが。

そして冷や飯を何年か食っていたのを1973年、昭和48年に再び彼を復活させた人が周恩来ですよ。周恩来の生きている間は良かったんですが、周恩来が死んだ途端に鄧小平はやられました。とりもなおさず周恩来路線が批判されたということになりますよ。これは大変なことです。

今年1月6日、周首相が亡くなったとき、当時の中国の「人民日報」は何と書いてましたか？「革命と人民のために捧げた偉大な生涯」と書いていましたでしょう。

近ごろの人民日報を見ますと、周恩来のことをほめる言葉は見当たりません。

次第、次第に時の流れとともに、周恩来は忘れ去られていくでしょう。中国人自身が実務者路線を行くか、マルクス、レーニン主義の方向で行くか。これからも右と左にゆれることでしょう。

ロッキード事件と日本政治

さて日本はどうしたらいいのか。こんどのロッキード事件をどう思われますか？30億というロッキードの金が動いてその金が児玉、丸紅、全日空などのルートを通じて政界の誰かに行っている。金を貰った何人かの政治家がいるでしょう。ロッキードの大型旅客機トライスターやP3Cオライオンという対潜哨戒機の導入決定にあたって、私腹を肥やした政治家がいるとすれば、国民が怒るのは当たり前でしょう。

真相究明は当然でしょう。この事件は、金の流れがなかなかつかめなかったが、どうやら見込みはついてきた。問題は職務権限に結びつくかどうかにはしぼられるでしょう。

それに時効がからんでくるし、証拠不十分で起訴出来ないものもあるでしょう。東京の検察庁では、川島特捜部長以下28人、検察事務官あわせて80人が一生懸命やっています。

金を貰った政府高官の氏名は、けん疑なしの

不起訴でない限り、時効でも、起訴猶予でも公表してもらいたいですね。

三木首相は、遠慮することはいらない。このさいウミを出すべきものは徹底的に出してほしい。でなければ、国民は政治を信用しませんよ。

自民党は大いに反省してほしいと思う。私の近所に住んである主婦がね、こういうことを私にいいました。「もう政治にはあきあきした。自民党は信用できない。社会党は総評系の労働組合の先頭に立って旗を振っているだけだ。公明党もピンと来ない。民社党は頼りない。残るのは共産党だけだが、共産党が政権をとったら、日本はどっち向いて走り出すかわからん」といって嘆いていました。

自民党は信用できない。社会党は総評系の労働組合の先頭に立って旗を振っているだけ。公明党はピンと来ない。民社党は頼りない。共産党が政権をとったら世の中はひっくり返るかもわからん。「支持政党なしで棄権する」というんです。「棄権は危険ですよ」と私はいうたんですね。これが、国民の本当の気持ちだと思うんですよ。

私はこの辺で本来の政治の姿は、何かを日本国民は考える時が来たと思います。第一は、議会制民主主義とは本来意見の異なったものの調和であって、いたずらに相手を打倒屈伏させることではない。欧米先進国は2大政党が中心になっています。デモクラシーの理想の形でしょう。アメリカは民主党と共和党。英国は、保守党と労働党。西ドイツはキリスト教民主同盟と社会民主党。2大政党によってお互に政権を交代しながらやっています。これがデモクラシーの、一つの姿だと思うんです。日本は自民党が単独政権でずっと続いてきたことに問題があると思う。ところが何故、野党、特に社会党が第一党でありながら政権を担当することができないかというと、社会党自身に問題があると思う。

社会党が、マルクス、レーニン主義の旗を振りかざしている間は、日本国民の大多数は、英国の労働党のように、あるいは西独の社会民主党を支持するようにはいきません。

マルクス主義は、プロレタリア独裁を原則とするでしょう。どんなに理屈をならべて、とりつくろっても、最後は議会制民主主義、デモクラシーの破壊です。

西ドイツの社会民主党はその点、賢明です。1950年代は、西ドイツの社会民主党は、大きな国民の支持がなかった。

1960年に西ドイツのゴータスベルクで大会を開きましてね、「マルクス、レーニン主義とは手を切る」という事を公然と声明した。

それ以来、ドイツ国民は社会民主党に支持を与えるようになった。そして西独のキリスト教民主同盟に代って、社会民主党が5年前に政権をとり、今日まできています。

政治は誰のもの

日本の社会党が本当の国民政党として、英国の労働党、あるいは西独の社会民主党のような行き方をするならば、随分、日本の政界の様子も変わってくると思うんですね。

同時に何よりも自民党自身がこの辺で反省しなければいかん。

ロッキード事件の真相もはっきりしないうちに、三木首相をおろせ、おろさんなどという低い次元で派閥抗争ばかりやっている。

政治は誰のものですか？国民のものなんです。私は、場合によっては、自民党は解体してもいいですよ。この辺で解体して出直してもいい。

選挙に金がかかりすぎるのも政治の腐敗した原因の一つです。こんなに腐敗堕落したのなら、国民の前にもう一辺、裸になって出直さないと言いたい。

今の自民党が解体したって日本は心配いらん。日本のために自民党があるのであって、

自民党のために日本があるのではない。

そういうこと考えたら、やれ田中派、やれ大平派、やれ福田派、いいかげんにしてほしいですね。

あの人たちが、これから生きたところであと5年か10年、若い人がドンドン育っていく20年後の日本のことを考えたら、この辺で自民党は脱皮して本当の国民政党として生まれ変われ。そういう意味で日本は、大きな転換期に来ておると思うんですね。

性病検診を実施せよ

ひるがえって、我が国の公衆衛生の現状を見ると考えねばならぬことが多い。第一に民主主義、自由主義の個人尊重の面ばかりが正面に出すぎて、社会全体の調和協力という点がおろそかになっています。

たとえば、ハエ、ゴキブリ、ネズミ、蚊、白アリなどを退治するのに、地域社会全部が協力しなかったら、効果が上らない。

一軒だけ、非協力的な家があっても駄目だし、また一軒だけ一生けんめい、害虫退治に頑張ってもなんにもならないのです。

第二に、基本的人権の尊重が、個人の上のみみけられて、社会的な人権尊重が無視されています。たとえば性病予防対策である。近ごろ、性病がふえていることは、各方面の数字が示している。性病の治療も大切だが、この予防は、さらに大切だ。

そのためには、性病の定期検診を各学校、各職場でやったらどうでしょうか。

結核のレントゲン定期検診がありながら、性病の定期検診のないのはおかしい。性病患者は、きょうは、ウイルスをうつされた被害者であっても、あすは、ウイルスを他の人にうつす加害者になる。それから、それへと連鎖反应的に恐しい勢いで広がってゆくものです。

個人の人権を尊重する余り、結果的に社会全体の人権が無視されてしまうのは納得できま

せん。もちろん、病気が病気だから、定期検診の実施のあり方については、慎重にやらねばなりません、一局面にだけ目を奪われて全体の姿を見誤ることのない新しい公衆衛生のあり方を考える時期に来ています。私が一番心配しているのは教育なんです。今の日本の教育はこれでいいんでしょうかね。

教育論「権利と義務」

大阪の阿倍野区のある小学校へPTAの講演に行った時、後で校長先生が嘆いていました。「もう教育に私は自信を失った」とおっしゃるんですね。「どうしたんですか、日教組の問題か何かあるんですか」と聞いたんです。校長先生が「困った」というたら、日教組に関することが多いですからね。「そうじゃない。別のことで困った事があるのです」という。

数日前、校長先生が廊下を歩いていたら、紙屑が落ちていた。通りすがりの小学校6年の女の子に「君、この紙屑拾いなさい」というた。拾わなかったんですよ、その女の子が。小学校6年の女の子がいうのです。「なぜ、私が拾わねばいのかんですか。私が落した紙屑なら拾います。私が落した覚えもないのになぜ拾わねばいのか。こういう紙屑を拾うために学校には、掃除当番が置いてあるではないですか。その掃除当番にいうて下さい私には紙屑を拾う義務はありません」小学校6年の女の子がいうんです。

校長先生がびっくりして、「何をいうんだ。お前、拾え」と叱ろうと思ったが、よく考えたら、理窟は向うの方が通っている。叱るわけにもいかんから、「まあ君、そういわずに拾って下さい。お願いします」といったら、「じゃ拾いましょう。だけど校長先生、これ一辺だけです」というて拾ったそうです。

私はその話を聞きましてね。えらいこっちゃなと思った。何が権利か義務かわかってい

ない。そんなもの義務や権利の問題じゃないんです。それ以前の問題です。自分たちの通っている学校をきれいにしようという気持があれば、いわれなくても拾えるものでしょうそれは人間のモラルです。権利と義務とは、観念として車の両輪です。権利を主張する人間は、義務を果たさなければならないということがわかっていない。自由を口にする人は責任をとるという事がわかっていないんです。責任をとることの出来ない人間は、自由を口にしてはいかん。義務を果たすことのできない人間は権利を口にする勿れというのが、本来の人間社会の基本精神です。

みなさん、ソヴェト憲法をごらんになりましたか。ソヴェト憲法130条から133条まで読んでごらんください。何と書いてあるか。日本の学生は「憲法、憲法」といってますけども、ソ連の憲法の130条には「ソ連国民の労働服務規律から国家に対する義務まで」ちゃんと書いています。131条には「兵役はソ連国民の最高の責務である」と書いています。132条には「ソ連国民の共同の財産である物を侵す者は人民の敵だ」と書いてある。

国家と個人の調和

日本はありがたい国ですね。133条になんと書いていますか。「国家反逆罪」を書いていますよ。ストをやったらソ連では大変ですよ。「極刑に処す」国家反逆罪を規定してある。日本はその点、結構な国です。スト権奪還と称して、スト権のない組合がストやるんですから。なるほど憲法の28条には「労働者の団結権」を書いています。しかし同時に憲法12条には、「すべて国民はこれらの権利濫用してはならないのであって、公共の福祉のためにこれを行う」と書いてある。公労協は自分に都合のいい権利ばかりをいってる。もし本当に公労協がスト権をいうんだったら法治国家のルールに基づいて国会において、

これを審議すべきなんです。いきなり違法ストをやるとは何事ですか。これでは国民はついて来ませんよ。私の最後に申し上げたい事は権利を主張する者は義務を考えてほしい。責任をとることが出来ないものは自由を口にしてはいかんという事です。



これが今後の国民の教育の最大眼目だということを、地域社会の指導者である皆さんは考えてくださって日本のために奮闘していただきたい事を強調して、お話を終りたいと思います。ありがとうございました。

座長 ありがとうございます。畑山先生には大変お忙しい中、お時間をさいて我々の為に、特別講演してくださいまして、大変示唆にとんだ、かつ広範な知識と情報をもとにしましたお話を聞かして頂き、私共が明日から活動する上でですね、最も大事な点につきまして、お話しくださったように思います。お話の事とそれから個々の保健衛生活動の結びつきが私共がこの大会が済んでから、あるいは帰る汽車の中でゆっくり、我々自身が考えてみたい、とこう言うふうに思います。どうも先生にはありがとうございました。厚くお礼申し上げます。——ではこれをもって特別講演を終わります。御静聴、ありがとうございました。

司会 会場の皆様に申し上げます。この後第3部の大会議事に移りますが、ステージの模様変えがございますので、ほんの僅かお待ち頂きたいと思います。もうしばらくお待ちください。